

栄区囲碁普及会の歴史



- 1 成り立ち
- 2 主たる動向
- 3 創立時の会員名簿
- 4 年度別役員一覧
- 5 年度別会員及び受講生推移 (準備中)

平成 28 年 6 月 15 日 作成

令和元年 5 月 24 日 更新

1 成り立ち

平成 13 年当時の栄区の囲碁事情は、各自治会や囲碁仲間の同好会はそれなりの活動をし、栄区囲碁連盟の主催する区民大会の参加者も増加の傾向にあったが、女性は勿論、若い世代の参加者等は皆無に等しかった。

H13. 8

栄区囲碁連盟の目的のひとつであった囲碁の普及活動が進まないことに危惧していた市田勝一氏（副会長）、区内の事情に精通していた囲碁普及指導員の関口正俊氏、区内で囲碁親子教室を開きながら子供への普及に努めていた囲碁普及指導員の鶴田郁夫氏の 3 氏が発起人となり栄区囲碁普及会の創立を起案。

H13. 9. 29

栄区囲碁普及会の創立の主旨に賛同の栄碁クラブ、本郷台自治会、栄区囲碁連盟幹事等のメンバーが参加し発足の運びとなった。（一般会員 19 名 賛助会員 16 名）

2 主たる動向

H13.10 鶴田郁夫氏栄区囲碁普及会会長に就任

H13. 親子囲碁教室にインストラクター派遣、協力

H13. 小学校をまわり、はまっ子スクールへの囲碁普及活動

H14.07 はまっ子スクールへの囲碁普及活動 区内 全 16 校に展開

H14.07 本郷台祭り 街頭普及で囲碁のブース設置

H14.11 上郷せせらぎ交流会（現 三世代交流会）に参加 現在に至る

H15.10 関口正俊氏栄区囲碁普及会会長に就任

H16. シニアクラブ連合会・囲碁将棋大会の運営に協力（～24 年の 8 年間）.

H16.07 第 1 回栄こどもとおとなの囲碁大会開催（参加者：子供 43 大人 26）

H16.10 本郷土曜教室開講（一期 6 か月・子供を除き在籍期間 1 年）本郷地区センター

H16.10 第 1 回級位認定会開催

H17.08 連絡会で教室 OB 会（現楽碁会）の必要性が討議される

H17.04 本郷土曜教室・上達コース開講

H17.04 本中日曜教室・入門初級コース開講（鶴田親子囲碁教室引き継ぎ）

H17.07 第 5 回級位認定会において第 1 号の初段格誕生 栃木康希君（小学 5 年）

H17.10 本郷水曜教室・上達コース開講

H17.10 桂台日曜教室・入門初級コース開講（後に本小日曜教室と改称）

H17.10 **本郷楽碁会（囲碁教室修了の段級位者の会）発足.**

H17.12 第 8 回級位認定会において女性初の初段格誕生 岸川津弥子さん

H18.02 会報「さかえの石音」1 号発行

- H18.04 豊田水曜教室・上達コース開講（豊田地区センター）
- H18.04 受講生の在籍期間を2年に延長
- H18.04 豊田日曜教室・入門初級コース開講
- H18.10 上郷金曜教室・上達コース開講（上郷地区センター）
- H18.10 **上郷楽碁会発足**
- H18.11 栄区文化協会主催の囲碁まつりに参加協力、囲碁教室を開講
- H19.04 **アミー碁（10級以下の囲碁を楽しむ会）発足**
- H19.07 第3回栄こどもとおとなの囲碁大会開催(以後開催日を海の日に固定)
- H19.10 **日本棋院横浜栄支部発足**
- H20. 栄区、栄区文化協会主催「何でも知り隊・アート知り隊囲碁部門」に参加（～22年）
- H20.10 **豊田楽碁会発足**
- H21.04 入門初級コーステキストとして栄区囲碁普及会版「入門テキスト」使用開始
- H21.07 第5回こどもとおとなの囲碁大会開催（認定状は委員長名で発行）
- H21.10 杉浦次利氏栄区囲碁普及会会長に就任
- H22.02 鎌倉子供囲碁大会に小中学生26名が参加（現在まで交流続く）
- H22.04 本小日曜教室を上郷地区センターに移設 呼称を上郷日曜教室と改称
- H22.04 上達コーステキストとして栄区囲碁普及会版「上達コーステキスト」使用開始
- H22.04 1期を12か月とし、教室在籍期限を3年に変更
- H23.04 10級以上の入門・初級コース受講生は上達コースの認定会を受けることに変更
- H23.07 第7回こどもとおとなの囲碁大会開催（鎌倉子供囲碁教室との交流開始）
- H24. 栄公会堂の「はじめての囲碁体験」講座に講師派遣（～現在に至る）
- H24.04 上達コーステキストとして改定版「上達コーステキスト」使用開始
- H24.04 初級コース受講者の認定会で資格を得たものの期途中での上達コースへの移籍を認める
- H24.04 教室在籍期間は3年とするが、教室の定員に満たない場合は3年を過ぎた者も受け入れ
- H24.07 **日本棋院横浜栄支部「創立5周年の集い」開催**
- H25.04 上達コースの認定会の回数を6回から4回に変更。
- H26.05 栄区囲碁普及会のホームページ開設
- H26.07 第10回栄こどもとおとなの囲碁大会開催
- H27.04 **楽碁会・本郷部会10周年記念を祝う**
- H27.04 会員からの会費徴収廃止
- H27.05 栄区囲碁普及会第4代会長に牧野博氏就任
- H27.05 会員証を作成配布（対象 115名）
- H27.09 日本棋院横浜栄支部主催の囲碁フェスタ2015さかえに共催参加
- H28.03 囲碁普及会創立15周年記念として囲碁15セットを本郷地区センターに寄贈
- H28.04 本郷日曜教室・上達コース開講（全8教室となる）
- H28.04 入門テキスト（9路盤）改定3教室統一運用開始
- H28.04 9路盤の認定会での認定廃止、インストラクターの推薦方式に変更
- H28.07 第12回栄こどもとおとなの囲碁大会創立15周年記念大会として開催
- H28.08 4学校でプロ棋士による囲碁教室開催（飯島小・豊田小・本郷小・横浜栄高）
- H28.09 囲碁フェスタ2016さかえにおいてプロ棋士2名による囲碁普及会受講生対象に指導碁・特別囲碁講座開催（栄区囲碁普及会・棋院横浜栄支部共催）

- H28.12 創立 15 周年記念事業「囲碁川柳」応募には 283 句もの投稿があり、秀逸作品、佳作作品等 32 句を表彰した。またこれら 283 句を句集としてまとめ、会員及び受講生に配布
- H29.03 入門・初級コースおよび上達コース修了式実施、年度初段獲得者 14 人、初級から上達コースへの昇級者 19 名
- H29.04 保護者の会「いちごの会」発足
- H29.04 情報紙「いちご通信」創刊号発行
- H29.07 第 13 回「こどもとおとなの囲碁大会」開催。NHK の取材を受ける。棋院横浜栄支部の協力を得て、蘇耀国プロ棋士による入門教室及び保護者との座談会開催
- H29.08 3 地区センター主催の「夏休みこども囲碁教室」に協力
- H29.09 栄区囲碁普及会の活動が栄区街づくり協働推進事業の一つとして取り上げられ栄区より補助金を受ける
- H29.09 NHK 囲碁番組「囲碁フォーカス」で栄区の囲碁活動放映
- H29.09 栄区区長及び地域振興課の職員と意見交換会開催
- H29.09 **日本棋院横浜栄支部創設 10 周年記念「囲碁フェスタ」開催又、記念誌発行**
- H29.12 日本棋院より普及活動を讃え栄区囲碁普及会に感謝状
- H30.03 入門・初級コースおよび上達コース修了式実施、年度初段獲得者 15 人、初級から上達コースへの昇級者 11 名
- H30.03 日本棋院より普及活動に対し栄区囲碁普及会会長に表彰状授与
- H30.05 栄区囲碁普及会第 5 代会長に三箇豊氏就任
- H30.06 鎌倉子供囲碁教室に講師派遣。H31.04 に生徒が 10 人に達し開講式を実施。
- H30.06 インストラクター研修資料（21 頁）を作成。各教室でインストラクター研修会を実施。
- H30.07 上達コーステキストに囲碁 AI を追加し、100 冊のテキストを作成
- H30.10 飯島土曜教室（入門・初級コース）が開講した。栄区囲碁普及会の 9 つ目の教室。
- H31.03 会則の役員人事規定を補足する役員人事規約を制定。
- H31.03 栄区シニア連合囲碁大会の運営協力を再開。
- H31.03 さかえ活動センター自主事業「超入門囲碁教室」の運営協力。7 名が受講生となる。
- H31.03 入門・初級コースおよび上達コース修了式実施、年度初段獲得者 22 人、初級から上達コースへの昇級者 10 名
- H31.04 本郷日曜教室は本郷日曜子供教室に改編。